

特別な教育的ニーズのある児童のための調査（小学生用 1 次調査）

特別な教育的ニーズのある児童に気づくための資料

特別な教育的ニーズのある子どもによく見られる項目が、以下に示されています。該当項目を表に記入してください。また、表とは別に気づいていることがありましたら特記事項に自由にお書きください。あてはまる項目があったら、記入表に（例：1 - (1) - ）のように記入してください。特記事項の欄には（嫌になると教室から出てしまう。授業に参加しない）など、具体的に記述してください。高学年での調査の場合には、専科担当等との連携も図った上でご記入ください。

1 学習面での問題

(1) 学習態度、参加について

- 授業中、席に座っていられずに立ち歩くことが多い。
- 教室からとびだしてしまうことがある。
- 授業とは関係のない発言を繰り返すことがある。
- 授業中、関係のない遊びや手悪戯をしていて授業に参加しないことが多い。
- 友だちと一緒に活動ができず、一人でふらふらしていることが多い。
- 板書事項を正しくノートに書き写すことができない。

(2) 学習の内容について

- 先生や友だちの話が理解できない。（言葉の意味が理解できない、指示が通りにくい、会話がうまくできない）
- 相手にわかるように話せないことが多い。
- 読み書きできない文字がある。（平仮名、カタカナ、漢字）
- 読み飛ばしや読み間違いが目立つ。
- 文章の内容を理解できないことがしばしばある。
- 短文を綴ることができない。（作文の組み立てができない）
- 算数が極端にできない。

2 生活上での問題

(1) 身の整理

- 机の回りがいつも散乱していて片付けられない。
- 自分の持ち物をよくなくす。
- 遊びに夢中になっていて、次の時間の学習の準備ができないことが多い。
- ひとつのことを最後までやり遂げられないことが多い。
- 忘れ物が多く、学習にさしさわりがある。

(2) 行動の面

いつもそわそわしていて、落ち着かない。
危険が予知できず、ケガをしたり、させたりしてしまう。
人のものをとったり、こわしたりしてしまう。
友だちに何気なくちょっかいを出してしまうことが多い。
ちょっとした(些細な)ことで怒り出すことが多い。
ゲームのルールに従って、遊びやゲームに参加することが難しい。

3 友だちとの関係

友だちと、よくトラブルをおこす。
友だちとかわからず、一人で行動していることが多い。
集団行動が苦手で、自分勝手な行動をすることが多い。
相手の気持ちを考えて行動することが難しい。
自分の好きな話題を一方向的に話してしまい、会話が成立しにくい。

4 運動面

歩き方または、走り方がぎこちない。
手先が不器用である。
なわとびができない、ボールが受けられないなどの様子が見られる。
同じ姿勢を長く続けていることが苦手である。(着席時や「気をつけ」の時に姿勢が崩れる等)

5 情緒・感情面

すぐに泣き出し、なかなか泣き止まない。
カッとなって、怒り出し、暴れる。(すぐにキレル)
周囲が理解できない理由でパニックになることがある。
感情表現が少ない。
急な予定の変更があると不安定になることがある。

6 その他

上記項目に当てはまらない問題で気になっていることがありましたら、特記事項にご記入ください。

現在、気になっている子の記入表

資料を参考にして、クラスで気になる子を全て下表にご記入ください。

学級 ()

記入者氏名 ()

NO	児童生徒氏名 (イニシャル)	資料該当項目 (例) 1 - (2) - 、	特 記 事 項 (例)文章が読めない。
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			